

第3章 「文化の森」の創造に向けた施策

本章では、前章で示した、3つの施策の方向別に、「文化の森」の創造に向けた今後おおむね10年間の基本施策とその具体策を示す。

1. 世界に向けた『文化』の発信強化

(1) ミュージアムコンソーシアム（共同事業体）の設立

文化施設の集積を活かした連携による相乗効果を発揮させる組織として、文化施設、大学、行政などで構成するミュージアムコンソーシアムを設立し、魅力ある多様な催し等の企画調整、効果的な情報発信等に取り組む。

< 企画・運営 >

- 「(仮称)上野ミュージアムコンソーシアム(以下、コンソーシアムとする)」の設立
- コンソーシアムが企画する共通テーマによる企画展等の開催
- コンソーシアムが主催する広場や文化施設の前庭等、屋外空間を最大限に利用したコンサートの開催 等

(2) 魅力のある多様な文化イベントの招致・開催

公園が持つ広がりのある空間を活かし、魅力のある多様な文化イベントの招致・開催に向けて取り組む。

< 企画・運営 >

- コンソーシアム等による魅力のある多様な文化イベントの招致
- 区や観光連盟が主体となり、「うえの夏まつり」等既に開催されているイベントの企画をさらに深め、江戸下町文化をテーマとしたイベントを開催 等

(3) 文化施設の充実と展示等活動の強化

文化施設の充実を図るとともに、魅力ある新規企画事業を展開する。

< 環境・施設整備 >

- 東京都美術館の改修
- 恩賜上野動物園の再整備
- 区立下町風俗資料館の体験型展示等機能の充実を検討 等

< 企画・運営 >

- 各文化施設による魅力ある新規企画事業を検討
- 東京藝術大学による彫刻など芸術作品の園内展示や、文化施設による施設の屋外空間でのミニコンサート等の開催
- 区と観光連盟が中心となり、不忍池畔の区立下町風俗資料館と蓮見茶屋等との連携による江戸下町文化が体感できる催事等の開催 等

(4) 文化施設と公園の一体感の創出

文化施設の敷地境界部を改善するなど魅力ある空間づくりを進め、文化施設と公園が一体となった空間を創出する。

< 環境・施設整備 >

- 東京都美術館の出入口の新設やアプローチの改善により来訪者がより利用しやすい動線を整備
- 各文化施設の敷地境界部にあるフェンスや塀等の改善策を検討
- 恩賜上野動物園の魅力を高める正門周辺の整備 等

(5) 歴史資源の保存と活用

寛永寺清水堂、旧寛永寺五重塔等の文化財、文化的価値を有する明治以降の建造物、上野の歴史を伝える記念碑等を適切に保存・活用し、良好な状態で利用者に公開する。

< 環境・施設整備 >

- 重要文化財に指定された歴史的建造物等の所有者による適切な保存
- 三橋の遺構等の歴史資源の展示策について検討 等

< 企画・運営 >

- 重要文化財など歴史的建造物などを巡る散策ルートを設定・周知を検討
- 歴史資源を巡る歴史探訪ガイドツアー等の企画・運営を拡充
- 区や西洋美術館が中心となり、世界遺産への登録候補となっている国立西洋美術館本館を文化遺産として積極的に PR
- 歴史的建造物のライトアップなどによる新たな魅力の創出
- 動物園内の旧寛永寺五重塔が園外からも良く見えるようにするとともに、積極的に PR 等

(6) 情報発信機能の強化

文化施設や周辺地域等、上野地域全体が連携し、「文化の森」の情報を総合的に発信する仕組みを構築する。

< 環境・施設整備 >

- コンソーシアムによる企画展の内容などを案内する合同掲示板等の検討 等

< 企画・運営 >

- コンソーシアムによるホームページ運営や複数の外国語に対応するパンフレット等の作成による情報発信 等

2. 魅力あるみどりと水の空間創出

(1) 「文化の森」の中核となる広場空間の創出

豊かなみどりに囲まれ、来園者がくつろぎ、安らぎを覚える「文化の森」の中核となる大広場を整備する。

< 環境・施設整備 >

- 魅力のある多様な文化イベントの開催に対応できる広場及び各種設備の整備
- 屋外で気軽に飲食を楽しめるとともに、それらの姿が絵になるようなオープンカフェ等の導入を検討
- 水景施設の規模・形状についての検討と整備 等

< 企画・運営 >

- コンソーシアム等による魅力のある多様な文化イベントの招致（再掲） 等

(2) 四季折々の表情が楽しめる、明るく魅力ある林の再生

花や紅葉、新緑など四季の変化を楽しめ、来訪者が憩い、安らぐことのできる、明るく魅力ある林に再生する。

< 環境・施設整備 >

- 支障木の整理や適切な管理によるエリアを特徴づける樹林地の育成
- 「文化の森」の中核となる大広場周辺の樹林は、広場と一体となり、憩い安らぐことのできる魅力ある大木中心の明るい林を創出
- 崖線の樹林は、適正な管理と育成により常緑の樹林地として保全
- いつ来ても、どこかで上野の四季を楽しめる花とみどりの名所づくりを推進 等

< 企画・運営 >

- 四季の変化を演出する花木や草本などの見ごろ情報の発信を拡充 等

(3) サクラの再生と花見空間の復活

サクラの再生を図るとともに、日本の伝統文化である花見を体感できる空間を創出する。また、来訪者へのサクラの紹介や花の見ごろ情報の発信等をボランティアと協力して行う。

< 環境・施設整備 >

- 上野公園のサクラの再生に向けた、樹勢回復や後継樹の植栽と育成
- 多種のサクラが楽しめる新たな花見の場として、上野の山で初めて江戸庶民に花見が開放された桜ヶ丘を桜の名所として復活 等

< 企画・運営 >

- 来訪者が快適に花見を満喫できるような花見のルール等について検討
- サクラを保全するボランティアである桜守によるガイドマップの作成やホ

(4) 下町情緒が感じられる親水空間の創出

不忍池とその周辺において、蓮見を楽しめる親水性を高めた池畔を整備する。また、区立下町風俗資料館と連携して展開する下町文化の習慣や祭り等を伝える催事が開催できる広場を整備する。

< 環境・施設整備 >

- 不忍池畔で休息や散策を楽しめる園路やイベント広場の整備
- より蓮見を楽しめるよう整備を行うとともに、蓮の生育環境や水質を改善等

< 企画・運営 >

- 区と観光連盟が中心となった不忍池畔の区立下町風俗資料館と蓮見茶屋等との連携による江戸下町文化が体感できる催事等の開催（再掲） 等

(5) 公園内の景観の向上と公園と調和した周辺景観の形成

文化施設と公園の連携により、公園内の景観の向上を図るほか、まちから見た上野の山への眺望や上野公園から見た街並み景観の向上等を図る。

< 企画・運営 >

- コンソーシアムにおいて、園内の看板・柵等の色彩や位置及び形状などについてデザインのガイドライン等の作成を検討
- 動物園通りと不忍池の間にある建物と公園との境界部の景観について、その向上を図るための方策について検討
- 区は、上野の山から不忍池への眺望や上野公園周辺の街並み景観の向上を図るための方策について検討
- 区が中心となり、建築物の形態や意匠及び屋外広告物の規制を強化するなど良好な街並み景観形成に向けた都民や企業との協働による取組について検討 等

(6) 歴史性を活かした魅力ある景観の再現と創出

上野公園の歴史性を感じることができる眺望点等を設定し、上野の山、不忍池、袴腰等において歴史的景観の再現や魅力的な景観を創出する。

< 環境・施設整備 >

- 支障木の整理等による江戸図絵等に描かれた寛永寺清水堂から不忍池方面への眺望景観の再現
- 不忍池畔や弁天堂から見た寛永寺清水堂や上野の山等魅力ある景観を眺望できる小広場の整備 等

3. 快適な利用の推進

(1) 公園の顔となるエントランスづくりとまちとのつながりの強化

「文化の森」にふさわしい風格を備え、来訪者が安全で快適に利用できるエントランス広場（JR上野駅公園口、袴腰等）を整備する。また、駅や周辺のまちなど外部とのつながりを高めるための取組を進める。

< 環境・施設整備 >

- 関係機関等と協力し、上野駅公園口前からの安全で円滑な歩行者動線を確保し、「文化の森」の顔として相応しい入口広場の整備について検討
- 関係機関等と協力し、江戸時代からの入口であり、まちとの結節点である袴腰とその周辺の整備について検討 等

< 企画・運営 >

- 気軽にまち歩きが楽しめる回遊ルートマップ等の作成
- 区等によるまちと上野の山の文化施設とのつながりを強化するバス等のルートを検討
- 西郷銅像下の飲食施設等については、公園へのアプローチの確保など、公園と周辺のまちとのつながりを強化 等

(2) 回遊性の向上

初めて上野公園を訪れた人が各文化施設間をスムーズに移動できるような歩行者動線を整備するとともに、誰にでもわかりやすい案内サイン等の充実を図る。

< 環境・施設整備 >

- 文化施設へのわかりやすいアプローチ動線の整備
- 初めて訪れた外国人旅行者にわかりやすいサインの整備 等

(3) 安全性の向上

公園の安全性を高めるため、老朽化した公園施設を改善するとともに、公園の管理の適正化を図る。また、災害時における避難場所としての役割を果たす公園として防災性の向上に取り組む。

< 環境・施設整備 >

- 主要な園路の照明の改善
- 誰もが利用しやすい清潔なトイレの整備
- 災害時にも利用できるトイレ等、防災機能に配慮した施設の整備 等

< 企画・運営 >

- 関係機関との連携による防犯対策について検討
- ホームレス対策の推進や違法屋台等の排除による公園管理の適正化を推進

- 歩行者の安全を確保するため、公園内における車両の通行ルール等について
検討 等

(4) 公園内サービスの充実

公園における飲食利用のサービス向上を図るため、文化施設内の既存飲食施設の拡充やメニューの充実を図る。また、明るい樹林地や広場など屋外空間において、気軽に飲食を楽しめる新規サービスを導入する。

< 環境・施設整備 >

- 屋外で気軽に飲食を楽しめるとともに、それらの姿が絵になるようなオープンカフェ等の導入を検討（再掲）
- 東京都美術館の飲食施設の拡充 等

< 企画・運営 >

- 各文化施設による施設内の飲食施設の積極的なPRと提供するメニューの充実を推進 等

(5) ユニバーサルデザインの推進

園内や文化施設において、ユニバーサルデザイン化を推進するとともに、ボランティアガイド等の取り組みを推進する。

< 環境・施設整備 >

- 園内や文化施設において、ベビーカーや車いす利用に対応した段差解消やスロープ等の整備
- 都区が連携し、公園と区立下町風俗資料館相互の移動を円滑にする動線の確保を検討 等

< 企画・運営 >

- 文化施設の展示物等の多言語による解説
- 多様な言語に対応したボランティアガイドの充実
- 各文化施設において子育て世代や高齢者等、誰もが安心して利用できるベビーカーや車いすの貸出しサービスの導入

